

独創は闘いにある

西澤潤一著

新潮社 1989 (新潮文庫)

所蔵館 請求記号

生田分館: X/080/Sh61/Nis

プレジデント社 1986

所蔵館 請求記号

本館: K/507/N87

神田分館: /507/N87



[著者プロフィール]

西澤潤一 (にしざわ じゅんいち)

1926年9月12日生

工学者 東北大学名誉教授

電子工学・通信工学が専門で半導体デバイス・半導体プロセスや光通信を開発

田中 稔 (ネットワーク情報学部教授)

読めば読むほど味の出る本ということで、この本が浮かんできた。平成元年の発行だが、今読んでもこの本の筆者の感慨や思いが轟々と伝わってくる。行き詰まった時などにこの本を読むと勇気づけられる。

インターネット社会の現代では最早当たり前となっている光通信、その光ファイバーの有効性に初めて気づき、「発明者」として知られている西澤潤一東北大学名誉教授。そのほかにも発光ダイオードなど数えきれないほどの発明があり、未完のノーベル賞候補といわれ続けてきた。

この本は彼の半生を綴ったものであるが、独創的な仕事を行う苦悩、闘いなどが良く伝わってくる。

さらに所々で引用される語句や言葉が印象的である。「愚直一徹、大道無門」、「自分を胡麻化さない」という一点で、私は確かにかなりの頑固者である、「頭をいじめぬいたからこそ、「頭が強く」なった」等々。

どうやら、「独創」に必要なのは「賢い頭」ではなく、自分を胡麻化さない「強い頭」そして常に問題意識を持つことか。

その他の推薦図書:

統計学を拓いた異才たち

一経験則から科学へ進展した一世紀

デイヴィッド・サルツブルグ著 竹内恵行 熊谷悦生訳 日本経済新聞出版社 2010 (日経ビジネス人文庫)

数理統計学の歴史的な流れ、思想の変遷がわかる

フェルマーの最終定理

サイモン・シン著 青木薫訳 新潮社 2006 (新潮文庫)

数学の定理を証明することの大変さがリアルに感じられる。

国家の品格

藤原正彦著 新潮社 2005 (新潮新書)

数学者でもある著者の一種独特な考え方に共感するところが多い。

持続力

山本博著 講談社 2006 (講談社+α新書)

日本アーチェリー界のカリスマもこんなに努力をしていた。